



にじいろ通信

～じりつ きょうせい たんきゅうしん～



◆東大阪小中一貫教育が本格スタートから2年目をむかえました

子どもたちはもちろん、保護者や地域の方たちの「小中一貫ってなに？」という疑問を少しでもなくせるように「にじいろ通信」や新喜多中学校区ホームページ（上記 QR コードよりアクセスできます。現在、作成中…。）等で発信していきますので、ぜひご覧ください。

新喜多中学校区は「じりつ きょうせい たんきゅうしん」を教育目標として、藤戸小・西堤小・新喜多中の3校が連携して、9年間をとおして子どもたちに「つきたい力」*を育てていくためにさまざまな取り組みを実施しています。 *下の「Shigita」の木をご覧ください。

今年度は新型コロナウイルス対策による対応により、小中一貫教育の取り組みについても変更・縮小せざるをえない状況です。現在、2学期以降の取り組みにむけて、年間計画を見直しています。このような状況ではありますが、児童生徒のみなさんに「小中一貫」をより身近に感じてもらえるような、さまざまな取り組みを進めていきたいと思ひます。



「Shigita」の木とは...

新喜多中学校区の子どもたちに「つきたい力」をイメージしやすいようにモデル化したものです。9つの力によって強くたくましい幹が育ち、「じりつ」「きょうせい」「たんきゅうしん」が大きく実るように、と願いをこめて校区3校の教職員で考えました。

☆中学校区ホームページでカラー版をご覧ください☆

◆新喜多中学校区の小中一貫教育を担当します。よろしくお願ひします！



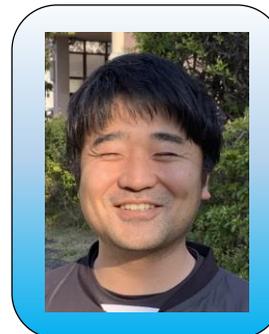
【3校間】
岡田 友介(新喜多中)



【藤戸小】
砂川 泰毅



【西堤小】
田村 太司



【新喜多中】
吉田 和寛

◆小中一貫教育の主な取り組み紹介

東大阪小中一貫教育では、重点的な取り組みとして、『6年生の中学校登校』や『6年生の一部教科担任制』、『5・6年生の定期テスト』などを実施し、その他の取り組みも含め「学校移行期における円滑な接続と適応」と「確かな学力の定着」をはかります。また、東大阪市独自の教科として未来市民教育『夢 TRY 科』を実施し、予測が困難な時代に生きる、これからの社会を担う子どもたちが郷土(ローカル)を大切に、広く世界(グローバル)に開かれた視野を持つ、すなわち「グローバル」な感覚を持ち、多様な人との協働をもとに活躍できる力の育成をめざします。



昨年度、新喜多中学校区では、中学校登校時に中学1年生が先生役となって6年生に算数のプリントを教える取り組みを行ったり、3校合同でのあいさつ運動や児童会・生徒会交流会を行ったりするなど、小学生と中学生をつなげる取り組みに力を入れていました。今年度もよりよい取り組みを行っていきたく思います。

「にじいろ通信」では、

『各校ニュース紹介』『小中クラブ紹介』『中学校の定期テスト紹介』『校長先生コラム』などを掲載していく予定です。みなさんに楽しみにしていただけるような通信にしたいと思ひます。ご意見などあれば、新喜多中学校(06-6781-0680 岡田)までご連絡ください。

☆新喜多ニュース☆ ～中学校給食がスタートしました！～

6月8日(月)、記念すべき新喜多中初の給食がスタートしました。初日のメニューは、ごはん、あじの南蛮づけ、かきたま汁、さけのふりかけ、牛乳でした。4時間目が終わってから手洗いをしたり、エプロン等をつけたり準備をしてから配膳室に取りに行きます。初日はなかなかうまくいかず、片付けが昼休みや5時間目にずれこんでしまいましたが、2日目からはグッとスピードが上がり、スムーズに食事をとることができました。小学校6年間でやってきたことが、みなさんの身についているんですね。生徒のみなさんだけでなく、先生方も給食の時間を楽しみにしている人が多いようです。さあ、今日もみんなでおしくいただきます！
(しばらくしたら、おかずがもう1品増えるそうです♪)



◆編集後記

この「にじいろ通信」を通して、地域の方々や校区の保護者の方々に3校の取り組みをご紹介します。小中一貫教育に関しては地域の方のご理解とご協力が不可欠です。「地域の子どもを地域で育てる」を合い言葉に、地域・学校・保護者がひとつになり、新喜多中学校区の子どものために協力していきましょう。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。(岡田)